

野毛山動物園リニューアルプラン（案）について

開園から70年以上が経つ野毛山動物園は、これまで多世代にわたる多くの市民の皆様に関われてきました。一方で、施設の老朽化やバリアフリー化、動物福祉への配慮などの様々な課題が出てきています。

そこで、今後も市民の皆様と様々な動物たちが快適に過ごせる動物園をつくっていくことを目指し、そのための指針となる「野毛山動物園リニューアルプラン(案)」を策定しましたので、報告します。

1 背景

- ・ 獣舎やバックヤード等の老朽化や園路のバリアフリー化、動物福祉に配慮した飼育環境の確保等の課題に対応することが求められています。
- ・ 野毛山動物園全体には多様な魅力(立地特性・ポテンシャル)があり、周辺施設と連携し、野毛山地区全体の価値を高めていく必要があります。

2 野毛山動物園周辺のエリアコンセプト



中央図書館や障害児者支援拠点(多機能型拠点)などの周辺施設と連携した多様な取組によるエリア全体の価値向上

中期計画 2022~2025

「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現につなげていきます。

3 野毛山動物園リニューアルの考え方

(1) リニューアルの視点と取組の方向性

野毛山動物園の特徴を生かしながら、さらにその価値を高めていくための「①インクルーシブ」「②親子の楽しみを充実」「③動物とのふれあいを充実」「④都市型」の4つの視点を定め、これらに応じた様々な取組を進めていきます。

視点	取組の方向性
① インクルーシブ	a) バリアフリー化の推進・多機能型拠点との連携 b) 誰もが動物園を楽しみ、親しめる環境整備
② 親子の楽しみを充実	a) 多世代が楽しめる空間・機会の創出 b) 何度も来たくなる、記憶に残る場所づくり
③ 動物とのふれあいを充実	a) 好奇心や探求心を高める仕掛け・演出 b) いのちを感じる体験への誘い
④ 都市型	a) 野毛山地区の賑わい創出 b) 都心臨海部との回遊性向上

[コンセプトマップ]



(2) リニューアルのねらいと想定される効果

- A: 動物展示と遊びの融合
- B: 子育て世代などのホスピタリティ向上
- C: 飲食・休憩機能の質の向上
- D: バリアフリー化
- E: 動物の住みよい環境づくり

野毛山動物園に来園される皆様の
ワクワク感 満足感
の向上を図ります。

(3) 3つのゾーン

動物種の特性や展示のテーマ等に応じて動物園内を3つのゾーンに分け、リニューアルを進めます。



〈第Ⅰ期エリア〉

① ② ゾーン
⇒令和10年度までに整備

〈第Ⅱ期エリア〉

③ ゾーン
⇒第Ⅰ期整備後、順次整備

2 (仮称) ふれあいパークゾーン

身近な動物たちと多様な形でふれあうことで、子どもたちの感性を高めていける場所を整備します。

図4 ふれあいコーナー (屋根設置)



図6 動物を身近に感じられる新施設



図5 屋内休憩棟



3 (仮称) 絵本に出てくる動物たちゾーン

キリンやシマウマなど、絵本で目にする親しみある動物たちのいきいきとした姿が楽しめる場所を整備します。



図7 キリン・シマウマの展示場

1 (仮称) 野毛山へようこそゾーン

- 新たに生まれ変わる野毛山動物園を最初に印象付けるエリアとして、エントランス棟では動物の“映える”モニュメントやペンギンたちが来園者を出迎えるとともに、思い出に残る魅力的な物販コーナー等を整備します。
- 動物展示と多様な“遊び”の機能が融合し、天気や季節を問わず誰もが何度でも訪れたいくなる屋内型施設『(仮称)ZOOPerienta! CENTER(ズーペリエンタ!センター)』を整備します。

図1 エントランス棟 外観



図3 ズーペリエンタ!センター 断面イメージ



※建物内部にエレベーターやスロープを設置し、約11mの高低差において、観覧動線のバリアフリー化を図ります。

図2 物販コーナー



4 今後の進め方(予定)

時期	内容
令和6年2月19日から3月19日	市民意見募集実施 応募方法：はがき・FAX・電子メール・電子申請システムによるインターネット入力フォーム
令和6年 4月から	① ふれあいコーナー屋根設置、屋内休憩棟等の整備 ② リニューアルに向けた調査・設計
5月	市民意見募集 結果公表
6月	野毛山動物園リニューアルプラン策定・公表
令和10年度まで	第Ⅰ期エリア(「野毛山へようこそ」ゾーン、「ふれあいパーク」ゾーン)の整備
令和11年度から	第Ⅱ期エリア(「絵本に出てくる動物たち」ゾーン)の整備



別紙 1

野毛山動物園 リニューアルプラン

(案)

ZOO っと
あるから
もっと  **GOOD** に
のげやまどうぶつえん

目次

1 はじめに ~野毛山動物園リニューアルプラン策定の背景~	P 1
-------------------------------	-----

2 野毛山地区のエリアコンセプト	P 2
------------------	-----

3 野毛山動物園のリニューアルについて	P 3-5
---------------------	-------

(1) 野毛山動物園の特徴	P 3
(2) リニューアルの視点と取組の方向性	P 5
(3) リニューアルのねらいと想定される効果	P 5

4 野毛山動物園リニューアルの内容	P 6-16
-------------------	--------

(1) 全体ゾーニング	P 6
(2) エントランス棟	P 7
(3) ズーペリエンタ！ センター	P 8
(4) ふれあいパークゾーン	P 11
(5) 絵本に出てくる動物たちゾーン	P 12
(6) 飲食・休憩所の充実	P 13
(7) 野毛山動物園の楽しみ方(イメージ)	P 15

付録	P 17-20
----	---------

(1) 野毛山動物園について	P 17
(2) 野毛山動物園のあゆみ	P 17
(3) 野毛山動物園を新しくする理由	P 19
(4) 皆さんの声	P 20

1 はじめに ～ 野毛山動物園リニューアルプラン策定の背景 ～

- ・横浜市立動物園の中で最も長い歴史のある野毛山動物園は、これまで多世代にわたる多くの市民の皆様が親しまれてきました。一方、開園から70年以上が経過し、施設の老朽化やバリアフリーへの対応、動物の飼育環境など、改善すべき課題も様々出てきていることから、将来を見据えて動物園全体をリニューアルしていく必要があります。
- ・野毛山動物園周辺には多様な魅力（立地特性/ポテンシャル）があるため、周辺地区のまちづくりとも連携しながら動物園のリニューアルを進めることで、エリア全体の価値を高めていきたいと考えています。



これまで親しまれてきた野毛山動物園のどこか懐かしい空気感は大事にしながら、市民の皆様と様々な動物たちがより快適に過ごせる動物園をつくっていくことを目指し、そのための指針として「**野毛山動物園リニューアルプラン**」を取りまとめました。



これにより、まちの魅力やブランド力の向上を図り、中期計画2022～2025に掲げた「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現につなげていきます。

2 野毛山地区のエリアコンセプト

野毛山地区がこれまで以上に、誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげる場所となるよう、エリアコンセプトに基づき、各施設が連携しながらエリア全体でまちづくりを進めます。

誰もが学び、楽しみ、交流し、理解しあえる
インクルーシブなまちづくりの展開

エリアコンセプトに基づきリニューアル・施設整備を進める



コラム1 障害児者支援拠点『横浜市多機能型拠点』の新規整備

▶ 障害がある人にもない人にも、すべての人にやさしいまちになることを目指して障害児者支援拠点『横浜市多機能型拠点』を新たに整備します。

- ▶ 医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等と家族の暮らしを包括的に支援するための横浜ならではの施設
- ▶ 野毛山地区への立地により、図書館や動物園と連携し、インクルーシブな取組を展開

※障害児者支援拠点

…医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等とその家族の地域での暮らしを支援するための施設



コラム2 中央図書館内に「のげやま子ども図書館」を整備

▶ 中央図書館の1階について、親子連れや子どもたちが楽しく学べる居心地の良い「子ども図書館」としてリニューアルします。

R6年度 先行整備

安心・楽しい
親子フロア

子どもたちが何度でも来なくなる、楽しく学べる環境づくり



【注】構想段階であり、今後の検討で変更が生じる可能性があります。

R7年度 改修予定

楽しく学べる子どもフロア

安心して遊び、絵本を読める
環境づくり

〔リニューアルの具体的な内容は
今後検討を進めます〕

▶ 誰もが使いやすい図書館となるよう、インクルーシブな環境づくりを進めます。

・車いすやストレッチャーでも利用しやすいフロア環境づくり
・バリアフリー動線の整備

3 野毛山動物園のリニューアルについて

(1) 野毛山動物園の特徴

Access

みなとみらい すごくちかい

実は、みなとみらいから、すごく近いんです。
最寄りの桜木町駅からバスで8分。徒歩でも15分。
坂はあるけど... 野毛山公園を通れば急坂も散策に。
でも野毛山の方が昔からあるから、
野毛山から、みなとみらいが近い。のかも。

Contents

ここにはぞうが いたんだぞう

70年以上の歴史がある野毛山動物園では、
かつて象がいた場所をレストランにしたり、
かつてのシロクマ獣舎の内側に入れたり、
歴史があるからこそ、思い出や展示方法、
動物の一生があります。
そんな歴史を知る人がいれば、楽しさも倍増。
世代をつなぐ楽しさがあるのも魅力の1つです。



Contents

もふもふ つるつる ざらざら どきどき

野毛山動物園には様々な動物がいます。
 “もふもふ”の動物もいれば、
 “つるつる”だったり“ざらざら”の動物もいます。
 命は、私たちも含めて、みんな、“どきどき”。
 動物とのふれあいや観察が、“生きている”実感に加え、
 自分自身の触覚や視覚などの体験を言葉にするのに、
 大きな役割を果たしていると言えます。

Facilities

むかしながらも ありながら

昔から知ってる人はもちろん、
 初めて来た人にも、どこか懐かしい。
 古いからこそその魅力を持つ野毛山動物園。
 古くても、いいものは、そのままに。
 もっと多くの人に来てもらえるように、
 回りやすい園内、古いけど、きれいな園内に。

(2) リニューアルの視点と取組の方向性

野毛山動物園の特徴を生かしながら、さらにその価値を高めていくための**4つの視点**
(① インクルーシブ ② 親子の楽しみを充実 ③ 動物とのふれあいを充実 ④ 都市型)
 を定め、これらに応じた様々な取組を進めていきます。



コンセプトマップ(上図)について

今回のリニューアルの考え方を体系的に表したもので、種の保存など動物園の基本的役割と動物福祉への配慮をこれからも根本的なマインドとして持ちながら、4つの視点やそれらに紐づく様々な取組が一体となり、新たな野毛山動物園をつくっていくことをイメージしています。

(3) リニューアルのねらいと想定される効果

今回のリニューアルにより、次のような効果を目指していきます。

動物展示と遊びの融合

子育て世代などのホスピタリティ向上

飲食・休憩機能の質の向上

バリアフリー化

動物の住みよい環境づくり

野毛山動物園に
来園される皆様の

ワクワク感
満足感

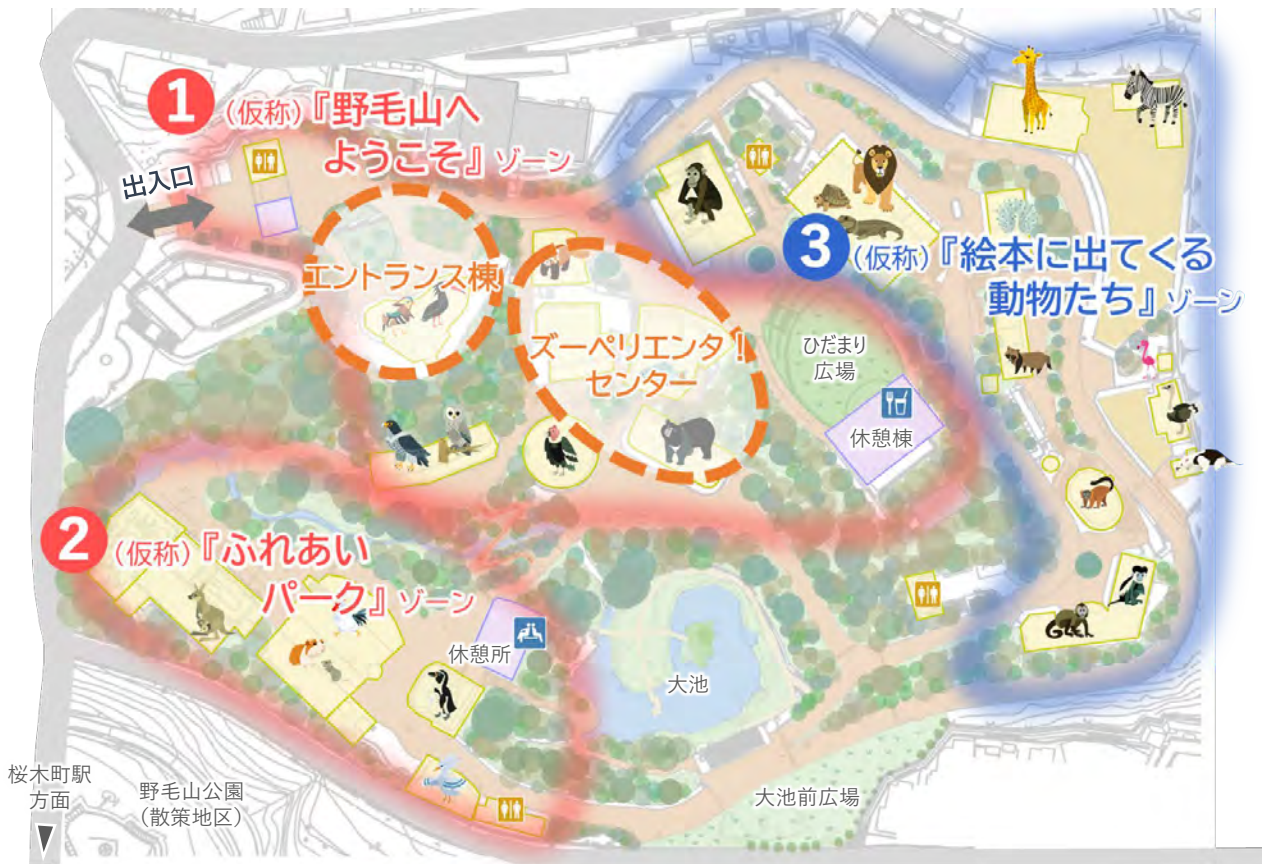
の向上を図ります。

4 野毛山動物園リニューアルの内容

(1) 全体ゾーニング

動物種の特長や展示のテーマ性等に応じて動物園内を3つのゾーンに分け、リニューアルを進めていきます。

動物園が大きく生まれ変わっていくよ



[注] 図中の各施設は現状の配置を表しています。

1 (仮称) 野毛山へ ようこそ ゾーン【第Ⅰ期エリア】

- * 新たに生まれ変わる野毛山動物園を最初に印象付けるエリア。エントランス棟では、動物の“映える”モニュメントやペンギンたちが来園者を出迎えるとともに思い出に残る魅力的な物販コーナー等を整備します。
- * 動物展示と多様な“遊び”の機能が融合し、天気や季節を問わず誰もが何度でも訪れたい屋内型施設『(仮称)ZOOPerienta! CENTER (ズーパーリエンタ! センター)』を整備します。

2 (仮称) ふれあいパーク ゾーン【第Ⅰ期エリア】

- * 身近な動物たちと多様な形でふれあうことで、子どもたちの感性を高めていける場所を整備します。

3 (仮称) 絵本に出てくる動物たち ゾーン【第Ⅱ期エリア】 ※第Ⅰ期以降順次整備

- * キリンやシマウマなど、絵本で目にする親しみある動物たちのいきいきとした姿が楽しめる場所を整備します。

令和10年度までに優先的に整備



リニューアル後 動物園全体のイメージ

- A エントランス棟 B ズーパリエンタ!センター
- C ひだまりカフェ D 爬虫類館
- E キリン・シマウマ舎 F サル舎
- G 休憩棟 H なかよし広場 I 猛禽舎



(2) エントランス棟



生まれ変わった野毛山動物園を強く印象付けるエントランスゲート



動物型のモニュメントとともに思い出の一枚を残せるフォトスポット

動物園に来たワクワク感が高まるペンギンたちのお出迎えエリア

目移りが止まらない魅力的な商品であふれるグッズショップ



ますますワクワクする動物園になっていくね

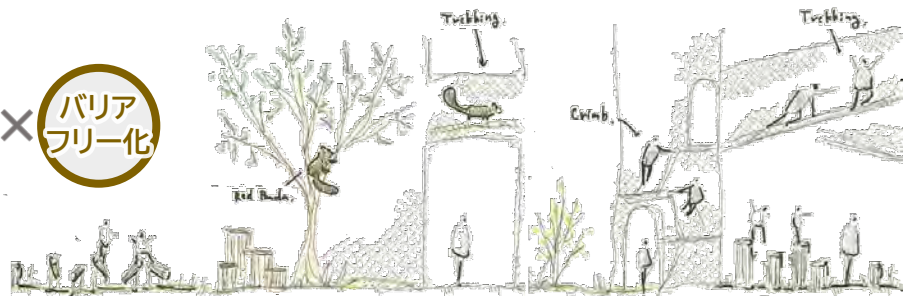


(3)ズーペリエンタ！センター

野毛山動物園のリニューアルを特徴づける新たな中心施設として、遊びを通して動物たちを深く知ることができる、**動物展示と“遊び”が一体となった屋内型体験施設『(仮称)ZOOPerienta! CENTER(ズーペリエンタ！センター)』の整備を進めます。**

コンセプトイメージ

- ▶ 目の前でイキイキと生活する動物たちと同じ環境の中でいろいろな遊びにトライすることで、「私も同じ！」という感情と体験の中から、ヒトと動物の身体的な構造や動き、生態の違い、共通点などを見つけ、その面白さや不思議さにおのずと関心が向くような施設とします。
- ▶ **自分と動物を重ねる体験**の先に生まれる、感動と発見に満ちた拠点づくりを目指します。



施設名称について

- ・ **ZOO** LOGICAL (ズーロジカル/動物園での)
- ・ EX**PERI** ENCE (エクスペリエンス/経験)
- ・ **EN** TER **TA** INMENT (エンターテイメント/遊び)
- ・ **!** (オドロキ)

(仮称)ズーペリエンタ センター
▶ **ZOOPerienta! CENTER**

上記のコンセプトイメージを体現する場所とすることを旨とし、4つの単語から組み合わせる施設名称を設定しました。

整備位置



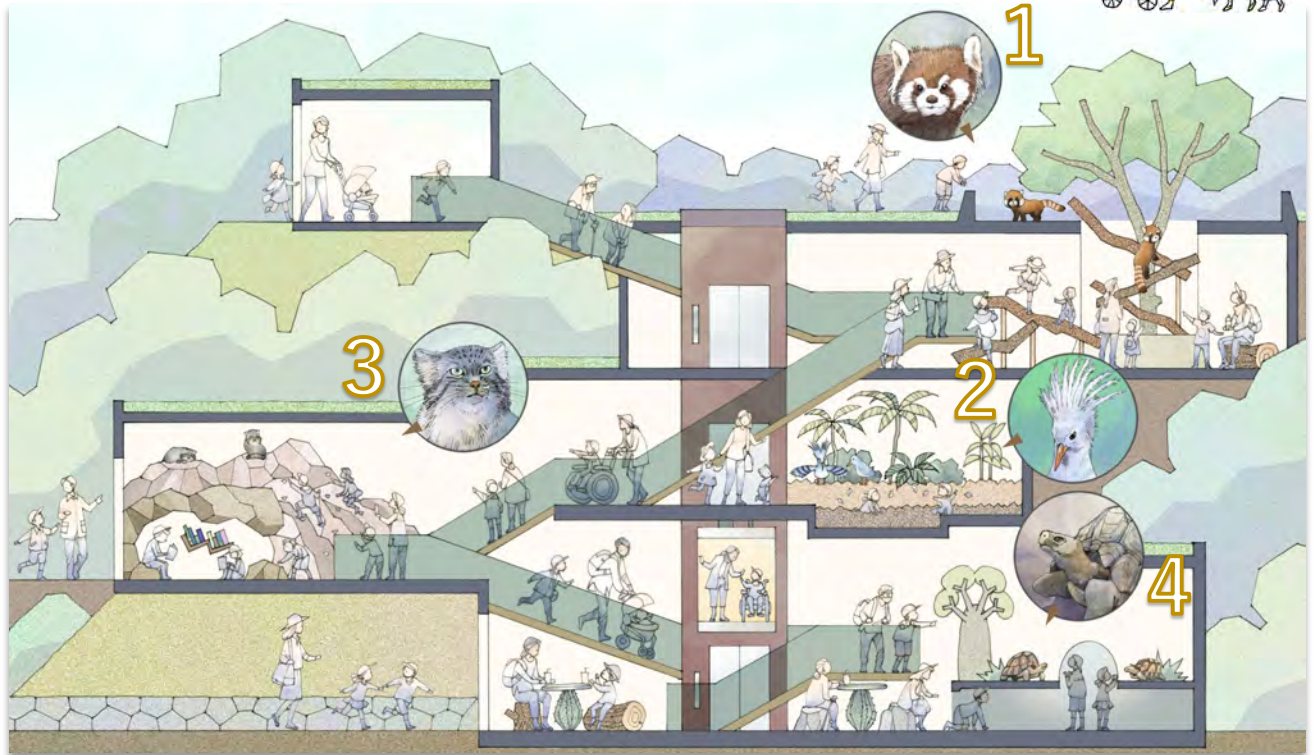
新たな施設の整備にあたってはエレベーターやスロープを設け、バリアフリー動線を確認します。



【注】 図中の各施設は現状の配置を表しています。

施設の断面イメージ

施設内にエレベーターやスロープを設け、すべての来園者が楽しく快適に観覧しやすい動線とします。



1 (仮称) レッサーパンダ ワールド

レッサーパンダたちの住みよい環境をつくるとともに、動物を間近に観れる休憩スペース等の設置も検討します。



2 (仮称) カグーワールド

国内では唯一、野毛山動物園で飼育しているカグーの展示と併せて、その生息地の環境を模した遊び空間の整備を検討します。



3 (仮称) マヌルネコワールド

「最古のネコ」とも呼ばれるマヌルネコを新たに展示し、岩場などの生息地の環境を体感しながら、動物と同じような動きで遊べる遊具を併設することを検討します。

4 (仮称) はちゅうるいワールド

リクガメなどを多様な方法で観察できるコーナーや、生息地の環境を模した遊具空間の整備、さらに多目的ホールや授乳室などの設置を検討します。



(4)ふれあいパークゾーン



こんなことを検討しています！

動物を身近に感じ、命を体感できる広場の整備

- ・既存のモルモット等の飼育に加え、ヤギやヒツジなどの身近な動物の飼育を新たに開始します。
- ・橋を渡る、岩を登るなど、動物と同じ動作を真似ることで動物の大きさや動きを体感できる場所を整備します。
- ・ガラス越しでは感じられない動物のにおいや体温などを知り、ふれあうことで子どもたちの感性を高めていける場所をつくります。



ふれあいコーナーの屋根設置

- ・天候に左右されず誰もが動物たちとのふれあいを楽しめるよう、新たに屋根をかけます。
- ・また、隣接のトイレについても親子が使いやすく、子どもの目を引くようなトイレに改修します。

雨の日でも安心だね



(5)絵本に出てくる動物たちゾーン



こんなことを検討しています！

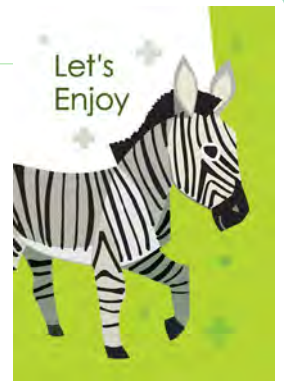
動物たちが暮らしやすく、来園者もワクワクする場所の整備

- ・キリンやシマウマ等の飼育スペースを拡張し、のびのびと暮らせる場所へとリニューアルします。（アニマルウェルフェア＝動物福祉への配慮）
- ・キリンと同じ目線を楽しめるデッキ園路を整備し、より間近にキリンたちと出会い、散歩や観察を楽しめるようにします。
- ・サルが通れるネットトンネル、コアリクイが木登りする飼育スペースなど、動物たちが自由に動き回る様子を楽しめる空間をつくれます。

コラム アニマルウェルフェア（動物福祉）って？

「動物福祉」とは、英語の「Animal-welfare(アニマルウェルフェア)」を直訳したもので、動物たちは、本来の生息環境に近い状態で飼育することにより、動物のストレスや病気を減らすことできるという考え方です。

具体的には、それぞれの動物ごとに適切な広さを設けることや、隠れたい時は隠れられるような展示場にするなどが挙げられます。



(6) 飲食・休憩所の充実

① 園内のレストランメニューのバリエーションを増やします。



地元素材を使用した名物グルメ
子どもたちが楽しみながら
おいしく食べられるキッズプレート
大人の満足度も高いカレーや
パスタなどのメインフード

ちょっとお腹が空いたときに
お手軽なワンハンドグルメ



こんなメニューを
企画していきます!



ここでしか食べられない
野毛山オリジナルスイーツ

…など

② 繁忙期にはキッチンカーを展開し、沢山のメニューから選べる楽しみ・魅力の向上を図ります。

にぎわいのある楽しい
公園をつくっていきます!





③ お弁当やワンハンドフード等を気軽に食べたり、
休める場所などを整備します。

ゆっくり休めるように
なるのはうれしいね



休憩棟の新築

動物観察の合間に小さいお子様
連れのご家族ものんびり快適に
過ごせる休憩棟に建て替えます。



大池前広場の再整備

大池前にある広場について、
芝生を囲むようにベンチ等を
設置し、お弁当を広げて皆で
ワイワイ食べたり、ちょっと
休憩できるような居心地の
良い場所へと再整備します。



ズーペリエンタ！センター内

ズーペリエンタ！センター内に
多目的ホールを整備し、お弁当を
食べたり、休憩などができる場所
を整備します。

さらに…



トイレも新しくなるよ

より快適にご利用いただけるよう
トイレを建て替えます。
(カグー舎横)



[注] 本ページのイラストは現時点での想定であり、今後の検討で変更が生じる可能性があります。

(7)野毛山動物園の楽しみ方(イメージ)

リニューアルによって生まれ変わった野毛山動物園で目いっぱい一日を楽しむ、とある家族の一日をイメージしたモデルケースです。

AM ~ Lunch



9:00

桜木町駅に到着！

今日一日、目いっぱい遊ぼう！



公園に寄り道しながら動物園に行こう！
ワクワクしてきたぞ！



9:30

動物園に到着！

フォトスポットで写真を撮ったり、ペンギンにも出会えるよ。



10:00

リニューアル後の目玉施設、
ズーパリエンタ！センターへ。
午前中はここで遊んで楽しむぞ！



12:00

あー、遊んだ遊んだ。そろそろお腹がすいてきたな。
レストラン、おいしそうメニューがいっぱい。
どれにしよう！

お弁当を食べるなら、
こちらの利用も！



休憩棟



大池前広場



PM ~

13:00

お腹もいっぱいになったし、
次は爬虫類館に行って、
それからキリンたちに会いに行こう。



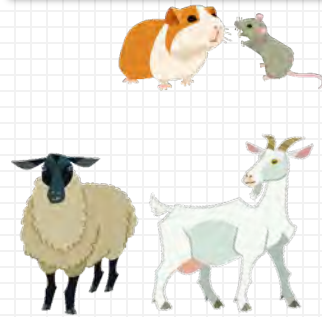
14:20

もう一つ、今日楽しみにしていたふれあいパーク。
かわいい動物たちに癒されよう。



14:00

ちょっと日陰でひと休みひと休み。

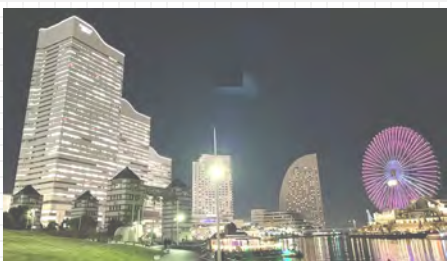


15:30

あーとっても楽しかった。
最後にお土産をいっぱい買っていこう。
だいすきな動物たち、またすぐ会いに来るね！



夜ごはんはみなとみらい？ 中華街？
美味しいもの食べて帰ろう！



(1)野毛山動物園について



所在地 横浜市西区老松町63-10



アクセス

電車 JR京浜東北線・横浜市営地下鉄
「桜木町」駅下車 徒歩15分

バス 市営バス89系統「一本松小学校」行き
「野毛山動物園前」下車すぐ



開園時間

9:30~16:30
(入園は16:00まで)

休園日

・毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
・12月29日~1月1日

※5月・10月は無休 ※臨時開園あり



(2)野毛山動物園のあゆみ



長い歴史があるんだね

コラム 動物園の役割

近年、世界的に動物園の存在意義は変化しています。

かつては動物の見世物小屋や、王族の趣味の施設から始まりましたが、現在の動物園は博物館としての機能が重視されており、「レクリエーション」施設としての役割のみならず、希少な動物を増やし守っていく「種の保存」や、野生動物を題材に「調査研究」する施設、さらにそれを多くの市民に還元する「教育」施設としての4つの役割がうたわれています。また、最近では生物多様性やSDGsなど、時代の変化と共に新たな視点も加わってきており、野毛山動物園はこうした大切な役割を長年担い、運営しています。

希少種の繁殖、調査・研究



生態・現状を伝えるガイド



セミナー・研究発表

学校団体向けプログラム



▲ かつてはキリンとゾウが向かい合って暮らしていました



▲ 日本動物愛護協会から功労賞を受ける在りし日のツガルさん



(3)野毛山動物園を新しくする理由

現在の動物園がどんな課題をかかえているか見てみましょう

みんないろいろな
悩みがあるんだね…



理由① 高低差の多い園内

現在の動物園には坂や階段があるので、ベビーカーや車イスで園内をまわるのが大変な場所もあります。皆さんが歩きやすい園路にすることで、もっと動物園を楽しめるようにしていきます。

急なスロープや階段が多くて
みんな大変そう…



理由② 動物舎が狭かったり、空いている

動物舎(動物たちのお家)が狭かったり、空いてしまっているところがあります。もっと走り回ったり、遊んだりできる広い住まいに直して、動物たちが快適に暮らせる場所をつくっていきます。

もうすこしひろいおうちで
かけまわりたいな…



理由③ 休憩所やトイレが古くて使いづらい

開園から長い時間が経ち、来園者の皆さんが使いづらかったり、古さが目立つ休憩所やトイレがあります。

これらを新たにリニューアルし、訪れる皆さんが快適にすごせる空間をつくっていきます。

きれいになればもっと
野毛山に来たくなるね…



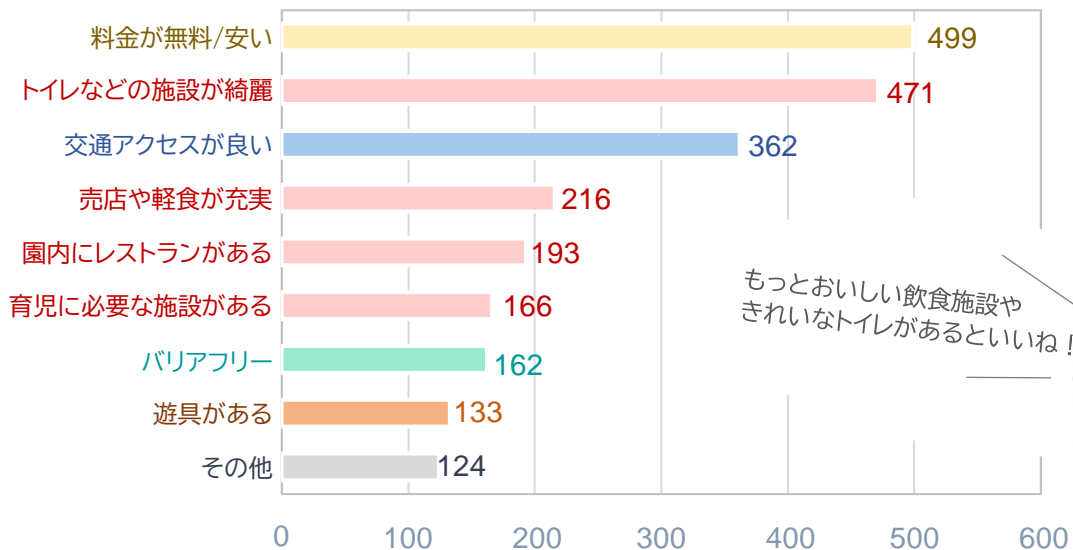
(4)皆さんの声

Q どのような動物園であれば行きたいと思いますか？

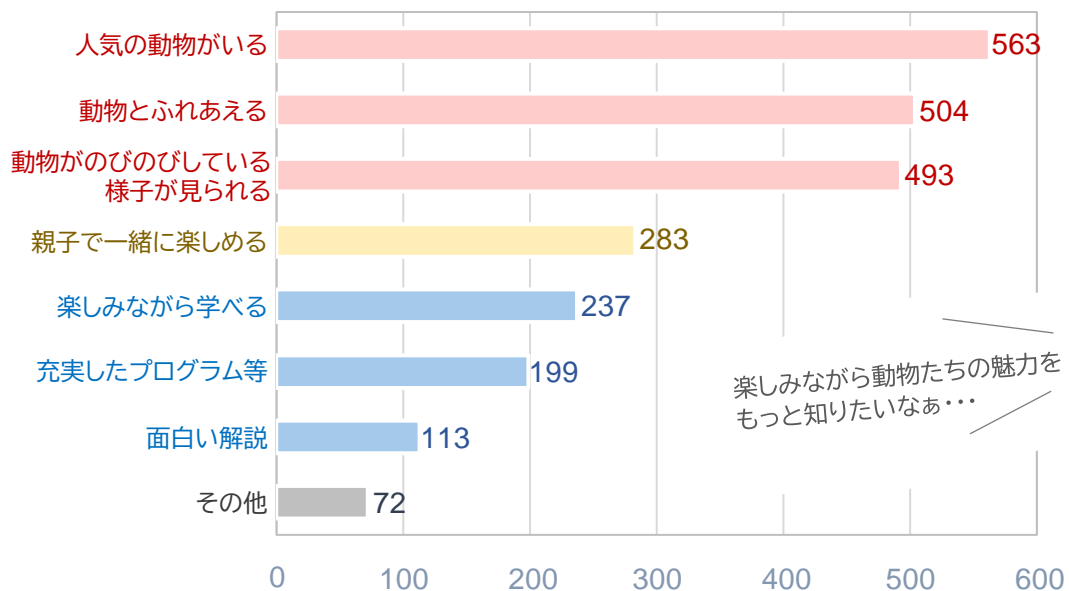
(各項目3つまで選択可)



【施設面】 回答数:2,326



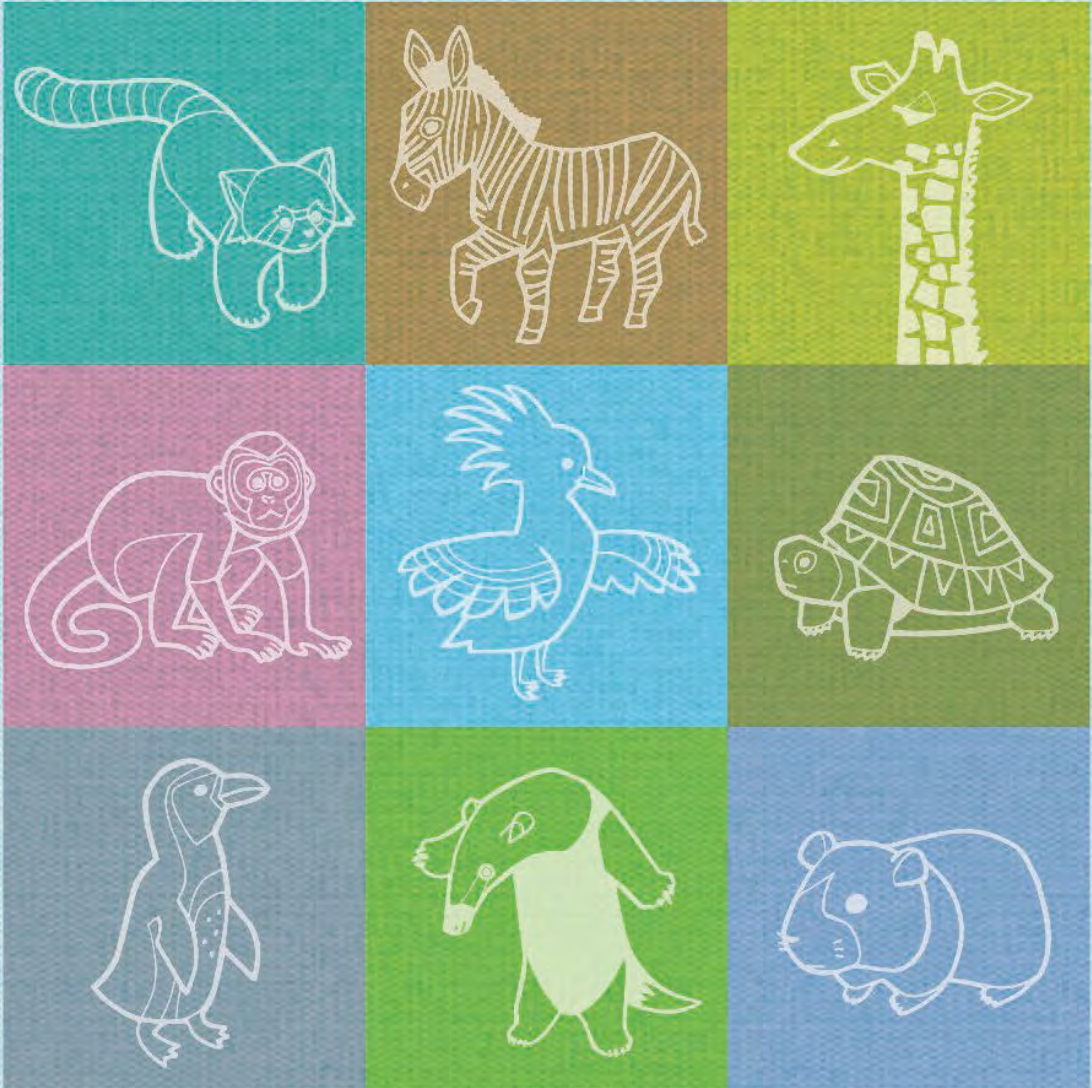
【施設面以外】 回答数:2,464



アンケートの実施概要

実施期間 令和5年6月21日(水)~7月9日(日)：18日間

回答者 1,010名



ZOOっと
 あるから
 もっと **GOOD**に
 のげやまどうぶつえん



【参考】周辺地区のまちづくりとも連携しながら動物園のリニューアルを進めていきます。

エリアコンセプト

誰もが学び、楽しみ、交流し、理解しあえるインクルーシブなまちづくりの展開

▶ 野毛山地区がこれまで以上に、誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげる場所となるよう、エリアコンセプトに基づき、各施設が連携しながらエリア全体でまちづくりを進めます。



- 本プランに基づく野毛山動物園のリニューアルの着実な実施
○ 周辺施設と連携した多様な取組によるエリア全体の価値向上

中期計画 2022~2025 「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現につなげていきます。

野毛山動物園リニューアルプラン(案)について、皆様のご意見をお聞かせください。

Postcard form for opinion collection with fields for name, address, age, and contact info. Includes a QR code and a 'このはがきは使用できません' stamp.

Opinion collection details including dates (Feb 19 - Mar 19), methods (mail, fax, email, internet), and contact information for the Environment and Planning Bureau.

ZOOっとあるから もっとGOODに のげやまどうぶつえん

市民意見募集 野毛山動物園リニューアルプラン(案)

募集期間 令和6年2月19日(月) ~ 令和6年3月19日(火)

横浜市立動物園の中で最も長い歴史のある野毛山動物園は、これまで多世代にわたる多くの市民の皆様により親しまれてきました。一方、開園から70年以上経ち、施設の老朽化やバリアフリーへの対応、動物の飼育環境等、改善すべき課題も様々出てきています。

横浜市では、野毛山動物園がもつどこか懐かしい空気感は大事にしながら、市民の皆様と様々な動物たちがより快適に過ごせる動物園をつくっていくことを目指し、「野毛山動物園リニューアルプラン(案)」を策定しましたので、市民の皆様のご意見を伺います。

プランの詳細はこちら ▶ 野毛山動物園 市民意見募集 検索

リニューアルに向けた4つの視点・取り組みの方向性

野毛山動物園の特徴を生かしながら、さらにその価値を高めていくための4つの視点(インクルーシブ/親子の楽しみを充実/動物とのふれあいを充実/都市型)を定め、これに応じた様々な取組を進めていきます。



リニューアルによる効果

▶ 多様な視点からの取組により市民サービスの向上等を図るとともに、次世代に継承していける価値の高い動物園をつくっていきます。

- 動物展示と遊びの融合, 子育て世代などのホスピタリティ向上, 飲食・休憩機能の質の向上, バリアフリー化, 動物の住みよい環境づくり

野毛山動物園に来園される皆様の ワクワク感 満足感 などの向上を図ります。

動物種の特性や展示のテーマ性等に応じて動物園内を3つのゾーンに分け、順次リニューアルを進めていきます。



1 (仮称) 野毛山へ ようこそ ゾーン

エントランス棟では、動物の“映える”モニュメントやペンギンたちが来園者を出迎えるとともに、思い出に残る魅力的な物販コーナー等を整備します。

動物展示と多様な“遊び”の機能が融合し、天気を問わず誰もが訪れたいくなる(仮称)スーパーイエンタ!センターを整備します。



2 (仮称) ふれあいパーク ゾーン

身近な動物たちと多様な形でふれあうことで、子どもたちの感性を高めていける場所を整備します。



3 (仮称) 絵本に出てくる動物たち ゾーン

絵本で目にする親しみある動物たちのいきいきとした姿が楽しめる場所を整備します。



- ◀ これらの施設は令和6年度中の完成に向けて再整備し、市民サービスの向上を図ります。
- A 既存の「ふれあいコーナー」に屋根をかけ、雨天でも動物と楽しく遊べる場所に再整備します。また、トイレについても、誰でも使いやすいトイレに改修します。
- B・C 快適に利用できる休憩棟やトイレに建て替えます。
- D 大池前の広場について、お弁当を広げてくつろぎ、休憩ができるよう再整備します。

(仮称) スーパーイエンタ! センター
ZOOPerienta! CENTER ... 『ZOOLOGICAL』+ 『EXPERIENCE』+ 『ENTERTAINMENT』+ 『!』
 (動物園での) (経験・体験) (楽しみ・遊び) (オドロキ)

- * 『4つのワールド』を遊びながら体験することで、動物の世界や環境行動への理解を深めていけるような施設の整備を進めます。
- * 施設内部は緩やかなスロープとエレベーターで動線を計画し、バリアフリー化の実現とともに園全体の賑わい創出を図ります。

〈施設断面イメージ〉



- 1 (仮称) レッサーパンダワールド
 人気が高いレッサーパンダと出会う最初の場所。レッサーパンダたちの住みよい環境をつくることと、休憩スペース等の設置も検討します。
- 2 (仮称) カグーワールド
 国内では唯一、野毛山動物園で飼育しているカグーの展示と併せて、その生息地の環境を模した遊び空間の整備を検討します。
- 3 (仮称) マヌルネコワールド
 「最古のネコ」と呼ばれ、近年人気が高いマヌルネコを展示し、岩場などの生活環境を模したアスレチック遊具を併設することを検討します。
- 4 (仮称) はちゅうるいワールド
 リクガメを多様な方法で観察できるコーナーや、生息地の環境を模した遊具空間の整備、多目的ホール・授乳室などの設置を検討します。

④野毛山動物園リニューアルプランに関するご意見 ※複数選択可

- 施設に関すること 動物に関すること
 - サービス(飲食、物販等)に関すること その他
- ご意見

キリトリ線
